

沖縄・北方問題及び地方に関する特別委員会

委員一覧（20名）

委員長	横沢 高德（立憲）	江島 潔（自民）	窪田 哲也（公明）
理事	今井 絵理子（自民）	鈴木 宗男（自民）	青島 健太（維新）
理事	自見 はなこ（自民）	高橋 はるみ（自民）	石 平（維新）
理事	徳永 エリ（立憲）	本田 顕子（自民）	安達 悠司（参政）
理事	山田 吉彦（民主）	勝部 賢志（立憲）	岩渕 友（共産）
	青山 繁晴（自民）	浜口 誠（民主）	伊勢崎 賢治（れ新）
	井上 義行（自民）	秋野 公造（公明）	（会期終了日 現在）

（１）審議概観

第219回国会において、本特別委員会に付託された法律案及び請願はなかった。

〔国政調査〕

11月21日、地方の活性化等に関する諸施策に関する件について、黄川田国務大臣から発言があった。また、沖縄及び北方問題に関する諸施策に関する件について、黄川田内閣府特命担当大臣及び茂木外務大臣から発言があった。

12月5日、沖縄及び北方問題に関する諸施策に関する件及び地方の活性化等に関する諸施策に関する件について調査を行い、北方墓参の再開に向けた交渉状況と今後の取組方針、普天間飛行場代替施設建設事業の総事業費の見積りを試算し直す必要性、北方領土返還運動の現状と成果及び閉塞感を打開するための方策並びに北方領土隣接地域活性化の方策、沖縄型神経原性筋萎縮症の調査研究の進捗状況、地方創生におけるスポーツや健康づくりに関する今後の取組、沖縄の人々を「先住民族」とする国連勧告をめぐる一連の動きに関する政府の見解と対応方針、北方領土館の老朽化への対応と建て替え費用の負担の在り方、国防の最前線である与那国島や石垣島に赴任する自衛隊員に家族の帯同を認めている理由等について質疑を行った。

（２）委員会経過

○令和7年10月21日（火）（第1回）

- ・特別委員長を選任した後、理事を選任した。

○令和7年11月21日（金）（第2回）

- ・地方の活性化等に関する諸施策に関する件について黄川田国務大臣から発言があった。
- ・沖縄及び北方問題に関する諸施策に関する件について黄川田内閣府特命担当大臣及び茂木外務大臣から発言があった。

○令和7年12月5日（金）（第3回）

- ・政府参考人の出席を求めることを決定した。

- ・沖縄及び北方問題に関しての諸施策に関する件及び地方の活性化等に関しての諸施策に関する件について茂木外務大臣、黄川田国務大臣、若林防衛大臣政務官、吉田防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

勝部賢志君（立憲）、徳永エリ君（立憲）、山田吉彦君（民主）、秋野公造君（公明）、青島健太君（維新）、安達悠司君（参政）、岩渕友君（共産）、伊勢崎賢治君（れ新）

○令和7年12月17日(水)（第4回）

- ・沖縄・北方問題及び地方の活性化等に関しての総合的な対策樹立に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- ・閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。